

2013年7月1日(月)
株式会社リクルートライフスタイル
エイビーロード・リサーチ・センター

エイビーロード AB-ROAD

2013年夏休みツアー問合せ概況

**円安の兆しの中でもオアフ島(ハワイ)が人気。
旅行先ではバンコク、バリ島がアップしASEAN諸国に勢いが
中・長距離が伸びて、前年までと比べて長めの夏休みに。**

エイビーロード・リサーチ・センター(株式会社リクルートライフスタイル内、センター長・沢登次彦)は、同社が運営する海外旅行検索・比較サイト『エイビーロード』(<http://www.ab-road.net/>)における、カスタマーの海外ツアーへの問い合わせ実績を集計し、2013年夏休み期間の海外旅行マーケットを考察いたしました。

<結果要約>

1. 夏休みツアー問合せ数(前年比)・・・P2

→全国計で前年比88%。主要出発地別では東京発89%、大阪発82%、
昨年絶好調だった名古屋発は前年比76%にとどまる

2. 夏休みの人気旅行先・・・P3

→問合せ数トップは「オアフ島(ハワイ)」、円安の兆しの中でもハワイは人気。
前年2位の「ソウル」が5位にランクダウン、ASEAN諸国に勢い。

3. 夏休みツアーの平均日数、出発・帰国希望日の集中状況・・・P3

→5日、6日、7日のツアーが上昇。短期のツアーが減少し前年までと比べて長期化。
→出発希望日は8月10日、帰国希望日は8月17日、18日のシェアが高い。

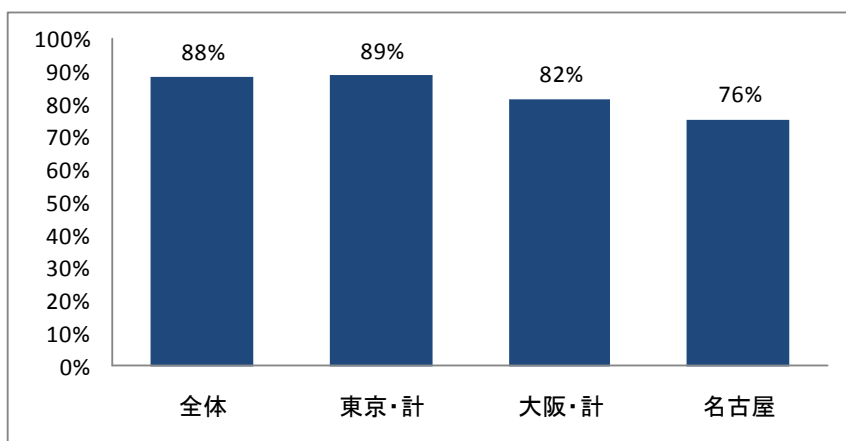
【本件に関するお問い合わせ先】

<http://www.ab-road.net/frame/question.html>

1. 夏休みツアー問合せ数

2013 夏休み期間(7月13日～9月30日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行)の新規問合せ数(1月1日～6月17日までの問合せを集計)は、前年比(昨年の同期間)で全国計が88%。震災後大きく需要が増加し、円高効果もあった前年ほどの勢いには及ばなかった。主要出発地別では東京発海外ツアーの問合せ数が前年比89%と減少率が最も少なかった。昨年好調だった名古屋は、前年比76%にとどまった(データ1)。

■データ1: 2013 夏休み期間の新規海外旅行問合せ数(前年比)



※1 全国計、各地発とも、前年問合せ実績を100%としたときの、2013年の問合せ実績を%で表示。東京発は成田発・羽田発の合計。大阪発は関空発・伊丹発の合計。全国計には、東京、大阪、名古屋以外の発地(福岡、札幌など)を含む。

※2 夏休み期間の定義は、いずれの年も7月13日～9月30日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行。すべて同じ年の1月1日～6月17日までに発生した問合せを集計。

※3 今年より「問い合わせ」の定義を以下に変更し再集計を行っている。

「問い合わせ」: AB-ROAD カスタマーのメールによる旅行会社への問い合わせと、旅行会社へのホームページへのリンク数を含めた数値。

2. 夏休みツアーの人気旅行先

夏休み期間で最も人気の海外旅行先は、過去2年においても1位を獲得した「オアフ島(ハワイ)」。これまで好調だった「ソウル」が5位に後退し、代わりに「台北」が2位に上昇。3位に「パリ」が入った。「グアム」は昨年3位から4位へ。6位には「バンコク」が順位を上げ、「バリ島(インドネシア)」が圏内に返り咲くなどASEAN諸国の勢いが感じられる(データ2)。方面別にみても、「アフリカ・その他」は前年比 113%と好調。他、南北アメリカなど長距離エリアが相対的に高め(データ3)。

■データ2: 夏休み期間の問合せ旅行先シェア TOP10

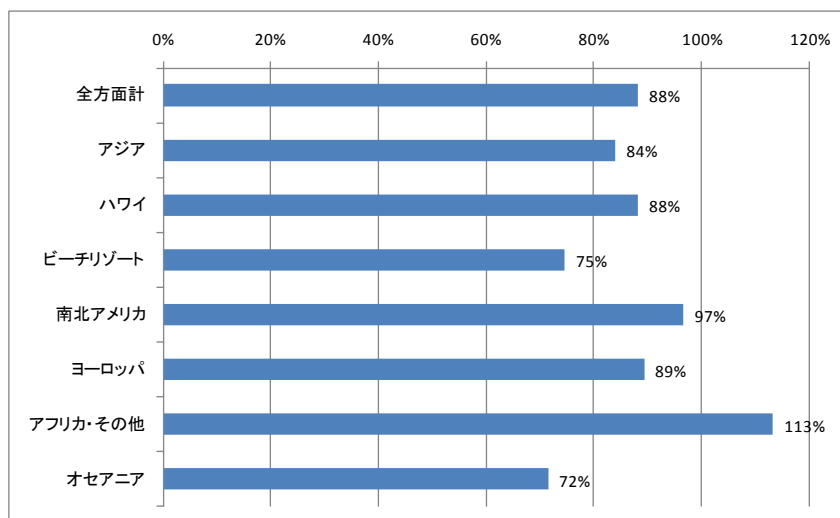
順位	2013年問い合わせ旅行先	シェア
1	オアフ島	10.8%
2	台北	3.7%
3	パリ	3.5%
4	グアム	3.4%
5	ソウル	2.8%
6	バンコク バルセロナ	2.7%
8	ローマ	2.4%
9	バリ島(インドネシア)	2.0%
10	シンガポール	1.9%

(参考)2012年、2011年の夏休み期間の問い合わせ旅行先シェアTOP10

順位	2012年問い合わせ旅行先	シェア	順位	2011年問い合わせ旅行先	シェア
1	オアフ島	10.3%	1	オアフ島	9.0%
2	ソウル	5.7%	2	ソウル	4.8%
3	グアム	4.6%	3	グアム	4.6%
4	パリ	3.8%	4	パリ	3.7%
5	台北	2.6%	5	台北	3.0%
6	ローマ イスタンブール	2.4%	6	ローマ	2.5%
8	バンコク	2.3%	7	バリ島(インドネシア) バルセロナ	2.3%
9	バルセロナ	2.1%	9	イスタンブール	2.2%
10	シンガポール カッパドキア	1.8%	10	バンコク	2.0%

※3 データ抽出の定義はデータ1※2と同様(以下同様)。 ※4 小数点第2位を四捨五入した数値でランキング。

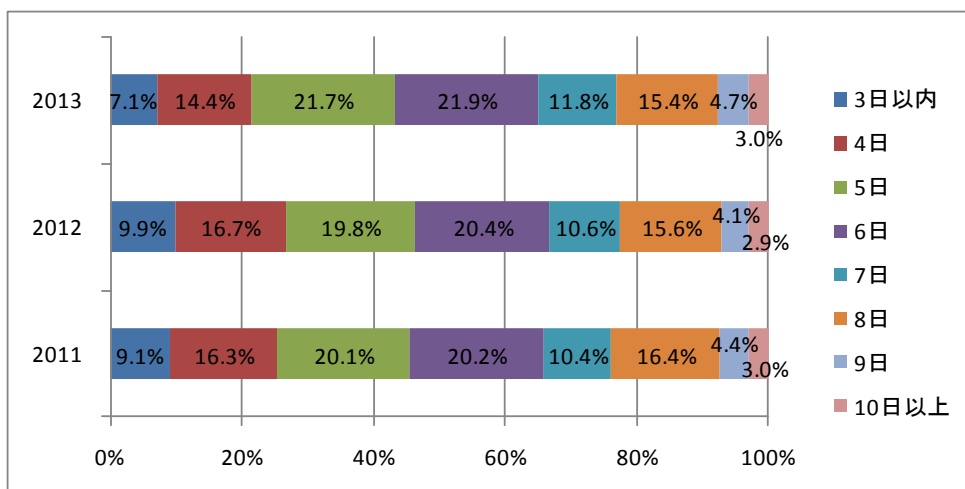
■データ3: 夏休み期間中の問い合わせエリア別前年比



3. 夏休みツアーの日程、希望する出発日・帰国日

～短期が減少し、「5日」「6日」「7日」が増加。前年までと比べて長めの夏休みに～
 ツアー日数に関しては、「5日」「6日」で全体の4割以上を占める。昨年までのシェアと比較すると、「3日以内」「4日」の短期間が減少し、それ以上の「5日」「6日」「7日」のシェアがそれぞれ伸びている(データ4)。平均旅行日数は2013年は6.0日(データ5)。出発希望日はお盆休み前の土曜日である8月10日、帰国日はその翌週の8月17日(土)と8月18日(日)のシェアが高い。

■データ4: 夏休みツアー問合せシェア_日数別(2011～2013年比較)



■データ5: 夏休みツアー問合せ_平均日数(2011～2013年比較)

年	2011	2012	2013
平均日数	5.9	5.8	6.0

■データ6: 夏休みツアー問合せシェア_希望出発日・帰国日(日にち別、月別)

順位	希望した出発日	問い合わせシェア
1	8月10日(土)	6.8%
2	8月14日(水)	4.5%
	8月13日(火)	4.5%
4	8月11日(日)	4.0%
5	7月13日(土)	3.9%

順位	希望した帰国日	問い合わせシェア
1	8月17日(土)	6.7%
2	8月18日(日)	6.0%
3	7月15日(月)	5.2%
4	8月16日(金)	4.9%
5	8月15日(木)	4.3%

<総評・解説>

円安の兆しの中でも夏休みは王道・ハワイが人気。前年までより長めの夏休みに。旅行先シェアではソウルが減少し、その他のアジア圏、および中・長距離に分散。特にASEAN諸国に勢いが感じられる顔ぶれとなった。

震災直後の旅行控えが落ち着き、円高の影響もあって好調だった昨年と比べて、昨年末より円安の兆しが見られた影響もあるのか、今年の夏休みの問い合わせ実績は前年比 88%にとどまった。

旅行先のシェアトップはハワイのオアフ島で、過去2年と比べてシェアを僅かながら伸ばしている。昨年末より円安の兆しが見え始めたが、依然ハワイは夏休み旅行先として人気のようだ。一方、昨年シェア2位のソウルが数値を落としたことで、同じアジア圏やハワイも含めた中距離、長距離へニーズが分散化した。特に順位を上げたバンコク(タイ)やバリ島(インドネシア)、昨年からランクインしているシンガポールなどASEAN諸国に勢いが感じられる。

結果として全体では3日、4日といった短期の旅行のシェアが減り、5日、6日、7日などのシェアが伸びる形となった。昨年までは短期化の傾向が見られたが、今年は長めの夏休みとなりそうだ。